

太鼓で笑顔盛り上げ大作戦！！！！

本単元で育成する資質・能力

つながる知識 試行錯誤力 主体性・協働性

1 単元について

(1) 単元観

本単元は、探究課題「私たちが育ててくれたもの」を踏まえて構想した単元である。児童は、これまでの総合的な学習の時間に、尾道の魅力を発信したり、地域の「空き家問題」に対して空き家再生の手伝いをしたりするなど、地域によさや課題に触れてきた。その経験から、多くの児童は、総合的な学習の時間を「地域の課題を自分達で解決する教科」という考えをもっている。その考えを基に、現在の土堂地区の地域の課題を明らかにし、課題解決のためのよりよい方法を自ら企画・実行する探究活動に取り組んでいく。課題解決に向けて自分の意見を持ち、友達と協力しながら学習を進めたり、地域と関わりをもちながら自分たちの取組を振り返って改善したりすることを通して、主体的・協働的に学習に取り組む態度を高め、試行錯誤しながら活動をよりよいものにしていく力を付けることができると考え、本単元を設定した。

(2) 児童観

本学級の児童は、課題の解決に向けて、友達と協力して取り組むことができる。アンケート調査の結果、「友達と話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができた」という質問に対して96%の児童が肯定的な回答をしていることから、本学級の児童は友達と話し合うことによさを実感している。しかし、「自分で課題（めあて）をもって授業に参加していますか」という質問に対して肯定的な回答は85%であった。実際に授業前の児童から、教師に対して「今日の総合はどんなことをしますか。」という発言や児童同士で「何やったらいい?」という会話が見られることから、受け身の姿勢で探究活動を進めていることが考えられる。これは、児童が探究活動の見通しをもてていないこと、自らの学習を調整しながら活動を進める力がまだ足りないことが原因として考えられる。また、「目的を達成するために、自分たちの取組をよりよい取組に改善していくことができますか」という質問に対しての肯定的な回答は79%であった。このことから、取組を改善しながら自分たちの納得解、最適解を見出すことに課題があると考えられる。これは、今まで課題解決に向けて実行した取組が一回で終わることが多かったことから成果と課題を振り返り、よりよい取組に改善していくという探究活動をする経験が少ないことが原因として挙げられる。

(3) 指導観

児童が主体的・協働的に探究活動を進めていくために次の3点に留意して指導を行う。

1点目は、学習計画を児童と共に作成していくことである。学習のゴールを見据え、どのような活動を行っていくのか児童の意見を基にクラス全体で作成していくことで、児童は学習に見通しをもつことができ、毎時間の授業に課題や目的をもって活動することができる。また、児童と共に作成した学習計画は教室に掲示しておくことで、学習進度を確認したり修正したりできるようにする。

2点目は、ループリックを活用した振り返りを探究活動に生かすことである。振り返りを記述させる際には、「A 評価になったのは、何ができたからその評価になったのか。」「A 評価にするには、自分の学習の仕方や態度をどう改善する必要があるのか。」「次の時間のめあてとどのように学習を進めていくべきか。」と問い、児童が自分の学習を調整することができるような記述をさせる。また、毎時間の授業の始めには、前時の振り返りを見直して活動を行うようにさせる。

3点目は、活動をよりよいものに改善していくために、取組の実行後に在校生や地域の方にアンケート調査を実施していくことである。取組の成果と課題について、児童の自己評価だけでなく他者評価を加えることで課題と原因を見出し、改善策を考え、よりよい取組に改善し、もう一度実行するという探究活動にしていく。

以上の指導の工夫を単元全体を通して取り入れ、児童の主体性と協働性、試行錯誤をしながらよりよい取組に改善していく力を高めていきたい。

2 単元の目標

土堂地区における地域の実態や課題を探究することを通して、そこに住む人々の思いや願いを理解し、地域の現状や未来について自分にできる取組について考えるとともに、自分と地域とのつながりを意識しながら行動したり生活したりできるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 地域には様々な課題があると共に地域をよりよくしようと取り組んでいる人やその思いを理解し、自分達にも地域のために行動できることがあるということに気付いている。 ② インタビューやアンケート調査など場面に応じた方法で実施している。 ③ 地域の未来と自分の生き方に対する考え方の高まりは、探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。	① これまでの学習や地域の現状をもとに課題を設定するとともに、解決に必要な方法や手順を考え、見通しをもって学習の計画を立てている。 ② 課題を解決するための必要な情報について、収集方法を選択したり、共通点を見付けながら蓄積したりしている。 ③ 収集した情報を比較、分類しながら解決策の方向性を考えている。 ④ 目的や相手を意識した表現をするために、課題を焦点化して改善点を考えている。	① かかわりを通して、自分のよさに気付いたり、他者の考えを受け入れたりしながら、課題解決に取り組もうとしている。 ② 課題解決に向けた話し合いを通して、友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 ③ 自分も地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを考えて積極的にかかわろうとしている。

4 単元における長江中学校区で育成を目指す資質・能力のルーブリック

資質・能力		評価	B	A
学びに向かう力、人間性等	主体性・協働性		<ul style="list-style-type: none"> めあてを達成するために、どのような学習をしていくべきか自分の意見を発言したり友達の意見と自分の意見を比べながら聞いたりしようとしている。 活動をよりよいものにしていくために、相手の意見を大切に聞いたり役割分担をして話し合いをまとめたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で学習のめあてを立て、めあてを達成するために、どのような学習をしていくべきか自分で考え実行したり次の時間の学習活動の見通しをもったりしようとしている。 活動をよりよいものにしていくために、協力して新たな考えを生み出したり班同士でよいところやアドバイスを伝え合ったりしようとしている。

5 指導と評価の計画（30時間）※児童の思考状況によって、随時変更。

【本質的な問い】自分と地域はどのようなつながりをもつことができるのか。

【単元を貫く問い】地域のために自分ができることは何か。

小単元名（時数）	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法	他教科との関連
課題の設定 1 イベントに向けた計画を立てる。 （1）	<ul style="list-style-type: none"> 目的を達成するためのイベント開催に向けて学習計画を立てる。 		①		行動観察 振り返りシート	
情報の収集 2 イベントで行う遊びや太鼓の演奏についての情報を集める。 （10）	<ul style="list-style-type: none"> イベントで自分たちが運営する遊びについてインターネットやこれまでの経験を基に考える。 地域の方にどんな遊びがしたいかインタビューしたりイベントの告知をしたりする。 太鼓が上手な方や土堂っ子太鼓の先輩に太鼓の上達の方法を教わる。 自分たちが演奏する太鼓の演奏を動画で撮影する。 	②		①	行動観察 ルーブリック活用 【自己・相互評価】	国語科 「話し合って考えを深めよう」 <ul style="list-style-type: none"> 互いの意見を分類したり整理したりして計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする力

<p>整理・分析</p> <p>3 イベントで行う遊びや太鼓の演奏がよりよくなるための準備をする。 (10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に聞いたことを表に整理し、自分たちの班が行う遊びを決定する。 ・目的意識や相手意識をもって多面的に遊びのルールを考える。 ・イベントで行う遊びに必要なものを作成したり実際にやってみて改善したりする。 ・相手意識をもってイベントのポスターやちらしの構成を考える。 ・太鼓が上手な方や土堂っ子太鼓の先輩から聞いたことをベン図に整理し、共通点を分析する。 ・自分たちが太鼓をたたいている動画を見て、課題を分類し、改善点を見つける。 	①			<p>ワークシート ループリック活用 【自己・相互評価】</p>	<p>国語科 「友達の意見を聞いて考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他人の意見と自分の意見を比較して、自分の考えをまとめる力
<p>まとめ・表現</p> <p>4 「太鼓で笑顔盛り上げ大作戦」を実行する。 (5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイメントに向けた準備を行う。 ・プレイメントを行う。 			③	<p>ワークシート ループリック活用 【自己・相互評価】</p>	<p>国語科 「聞いてほしい、この思い」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いが伝わるように聞き手の興味・関心に応じて表現を工夫する力
<p>整理・分析</p> <p>5 活動をふり返る。 (3) 本時(2/3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をして成果と課題を出し、改善策を考える。 ・アンケート結果を基に、成果と課題を出し、改善策を考える。 			④	<p>行動観察 ワークシート ループリック活用 【自己・相互評価】</p>	
<p>課題の設定</p> <p>6 3学期の活動に向けて課題を立てる。 (1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイメントを通して、新たな課題設定を行う。 	③			<p>行動観察 ループリック活用 【自己・相互評価】</p>	

6 本時の展開

(1) 本時の目標

アンケート結果を基に、活動の目的と土堂地区の未来を関連付けて考えることを通して、自分達の活動を広げることができる。【思③】

(2) 本時の学習過程 (28/30)

段階	学習活動 ★主体性・協働性を高めるための活動	教師の働きかけ 支援○ 評価☆ 方法【】 ★主体性・協働性を高めるための手立て
課題設定 (5分)	<p>○前の時間を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレイバントで他学年に書いてもらったアンケートを感想と意見で分けて整理した。 ・今日は意見を分析して、自分たちの総合的な学習の時間をよりよくしていく。 <p>○本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>アンケートの意見を分析して、自分たちの総合的な学習の時間をよりよくしよう。</p> </div>	<p>○前時までの流れを確認し、児童と共に本時のめあてを立てていく。</p>
課題解決 (30分)	<p>○アンケート結果を見て、共通の意見を焦点化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを1回だけではなく、何回かした方がいいという意見が多い。 ・イベントを続けていく必要があるという意見が多い。 <p>★「イベントを1回だけでなく何回か続ける」という意見の理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回よりも何回かした方が地域の人元気になるし、地域の人同士がつながれるから。 ・イベントを続けることで、目的がさらに達成できるから。 ・1回だと意味がない。せっかく地域の人元気がなったり笑顔になったりしたとしても、1回だと時間が経ったらまた元通りになってしまうから。 ・1回のイベントで目的が達成できたとしても、地域の人これから元気がなったり笑顔になったりすることが大切だから。 ・僕たちは卒業するからずっと続けることはできない。だから他学年にも伝えていく必要がある。 <p>○アンケートの分析から今後の総合的な学習の時間に向けて新たな目的を付け加える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回イベントをした後のことも考えておかないといけない。 ・これからも地域の人元気で笑顔になり、地域の人がつながることが大事。 	<p>○アンケート結果の中で、より多い意見に着目させ、ペアで確認させる。</p> <p>★<u>アンケートの意見と自分たちが取り組んでいる土堂地区の課題とのつながりを考えさせる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○アンケートの意見に対する理由について、自分の考えを書かせる。 ○目的に立ち返りながら、イベントを何回か続けるよさを説明させる。 ○「目的がさらに達成できる」、「1回だと意味がない」などの意見に対して、「目的がさらに達成できるってどういうこと?」「1回だけだと地域の課題は解決されないの?」と切り返し、目的達成がイベントのみで終わるのではなく、継続することが大切という新たな視点に気付かせる。 ○目的が継続されないことや目的が継続されることを矢印で視覚化する。 ○児童と一緒にイベントを行う目的を付け加えていく。

振り返り (10分)	<p>○本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今日の授業で参加者のアンケートを分析してみて、1回のイベントが終わった後も地域の人元気になったり笑顔になったり地域の人がつながったりする取組をしていくことが必要だと思いました。僕達のイベントの目的が続くようにするには、他の学年に自分たちの取組をスライドにまとめて伝え、来年も取り組んでもらえるようにすればよいと思いました。</p> </div>	<p>☆アンケート結果を基に、活動の目的と土堂地区の未来を関連付けて考えることを通して、自分達の活動を広げている。</p> <p>【ループリック、発言】</p> <p>○振り返りの中で、今後の取組について出てきた意見を板書する。</p>
---------------	--	--

(3) 板書計画

